



さわやか八中

H28 学校だより No.11

平成 29 年 1 月 10 日

文京区立第八中学校長

神保 道隆

A I に負けない力を

平成 29 年が始まりました。年の初めにあたり、みなさんに身につけてほしい力について記述している「A I の弱点を知って」という新聞記事(12 月 24 日、毎日新聞朝刊)が目にとまったので以下に掲載します。読んでください。

人工知能(A I)の話題に事欠かなかったこの一年。その中で頭に残ったのが「彼らはまるで意味がわかっていない」という一言だ。

東大入試に挑戦するA I「東大ロボくん」を開発してきた国立情報学研究所の数学者、新井紀子さんの言葉だが、「意味がわかっていない」とはどういう意味なのだろう。

新井さんの話は6年前にさかのぼる。「コンピュータが仕事を奪う」を出版した時、「2030年ごろA Iが人間の仕事の多くを代替する」と予測していた。最悪のシナリオは、A Iと子どもの学力がバッティングし、失業と人材不足が同時に起きること。ところが「みんなS Fだと思って、気にしなかった」。

そこで、公開の場でA Iにできること、できないことをはっきりさせれば、危機感をもってくれるのではと思って始めたのが東大ロボくんだ。

大学入試の模試に挑戦して4年目の今年、センター模試では難関私立大が「合格圏内」に入った。東大2次模試でも数学(理系)は偏差値76.2とあっぱれな成績。だが、結論は「このまま続けても東大合格は無理」。立ちどころなのが「意味がわからない」というA Iの弱点だ。

たとえば英単語を並べて自然な会話を作る問題。今年、英語チームの試行錯誤でわかったのは「東大ロボくんが自然な会話を理解するには500億の会話を勉強しなくてはならない」だった。そんな膨大なデータはなく、「今はやめよう」となった。国語はもっと難しく、さらに笑ったのは生物だ。たとえば「ネズミの脳下垂体を除去したらどうなるか」。ホルモン分泌がなくなり尿量が増える、が正解らしいが、論理や統計では「血が出るか、死ぬかどうか」と。

A Iはすべて数学の子ども。「でも、数学には論理と確率と統計しか言葉がない」。だから意味が扱えない。それでも高校生の8割は意味を理解していないA Iに敗れた。

中高生の読解力調査も行ってきた新井さんによると、A Iのように文の意味を正確に読み取れない子どもはたくさんいるという。A Iに似た間違い方と思えるケースもあった。読解力の低下は、今月、学習到達度調査(P I S A)でも注目された。

意味がわからなくてもできる仕事はA Iに置き換わる。大事なものはA Iと差別化した能力を身につけること。新井さんの言葉に納得しつつ、読解力調査を読み飛ばして間違えそうになった。えっ、私もA I化? 要注意かもしれない。(専門編集委員 青野由利)

A I に負けないために

新井紀子さんの「大事なものはA Iと差別化した能力を身につけること」というヒントの答えになりそうな投稿が12月27日にあったので、これも掲載します。町田市の中学生 安西夏美さん(13)の『「朝の15分」から読書好きに』という文章です。

今年の大きな変化は「読書をするようになったこと」です。

去年までは、小学生でした。本とは無縁な生活を送っていました。学校から帰れば、すぐゲームを始め、そのまま夜中までゲームを続けていました。しかし、中学に入学すると、「朝読書」という15分ほど本を読む時間ができ、毎日、本を読む習慣ができました。そこで、私は初めて本の面白さを知りました。物語は、細やかな表現で作者の創りだした世界に引き込まれました。哲学の本は、共感できる部分がありました。分からない部分を、考えながら理解した時の満足感はとても気持ちの良いものでした。

本を読むのが楽しくなって、家にいる時もゲームをやめ、代わりに読書をしています。学校で、図書委員になりました。今年はこの魅力に気づいた一年となりました。図書委員として、来年はいろいろな人に本の魅力を伝えていきたいです。

読んでどう考えますか？ 終業式の日配布した「さわやか八中」No.10でお年玉を自分の力になるものに使おう、と書きました。お年玉を、ゲームではなく本の購入に使ったら、みなさんの豊かな将来につながる可能性が高くなりそうです。

蓄えた力を

3学期は今まで蓄えてきた力を発揮する学期です。

特に3年生は4月からの進路を決定する本当に大切な時期です。目標とする進路を実現させるため、入学試験という関門を越えなければなりません。しかし、これはすべての中学3年生に与えられたものであり、新しい自分のスタートともなるのです。

将来の自分がどうなっているかは誰にもわかりません。しかし、どうしたいか、どうなりたいか、という設計図を描くことはできるのです。そして、その設計図は、成長し自分を見つめるごとに書き換えることができるのです。最初の設計図をどう描き、前に進んでいくかを念頭に、希望の進路実現に向け頑張りましょう。

1・2年生は2月の校外学習に向けて、自分たちの計画をしっかりと練りあげてください。1年生は都内巡り、2年生は鎌倉の班行動です。校外学習は遠足ではありません。班行動をとおして、みんなで協力しながら学習する目的があります。目的の達成とよい思い出作りのために、しっかりと計画を立てましょう。

《 1月の予定 》

1日(日)	元日
2日(月)	休日
3日(火)	
4日(水)	仕事始め
5日(木)	
6日(金)	
7日(土)	冬季休業日終
9日(月)	成人の日
10日(火)	始業式 時間割D始 給食始 避難訓練
11日(水)	分掌部会 レベルアップ 教室 14:50
12日(木)	
13日(金)	第一中学校研究発表 45分授業 ⑤⑥カット
14日(土)	土曜授業公開 1・2年百人一首大会②③
15日(日)	3年私立高校推薦出願始
16日(月)	
17日(火)	全校朝礼 安全指導
18日(水)	職員会議 レベルアップ 教室 14:50
19日(木)	
20日(金)	1・2年英語検定試験⑥
22日(日)	3年私立高校推薦入試始 東京駅伝試走会
23日(月)	各種委員会④ 3年都立高校推薦出願
24日(火)	生徒会朝礼 区中研A ⑤⑥カット
25日(水)	職員会議 レベルアップ 教室 14:50 3年私立高校一般出願始
26日(木)	3年都立高校推薦入試1日目
27日(金)	3年都立高校推薦入試2日目 東京駅伝壮行会
28日(土)	漢字検定試験 8:50
30日(月)	
31日(火)	学年朝礼 45分授業 区中研B ③カット